

安全安心な通学路へ

◎幅員が狭い通学路歩道、片側歩道で自宅の前には歩道が無いところも

国道156号の歩道は国道沿いに位置する大和南小学校への通学路として指定されている。小学校前の歩道は幅員がせまく、すれ違いも困難な状態となっていた。また、小学校の反対車線側には歩道がなく、沿道が自宅の学童は国道路肩を歩いて通学していた。

◎歩道拡幅と両側歩道の整備

通学路歩道の拡幅と両側歩道の整備によって、安全安心な通学を実現した。

●位置図



河辺歩道設置
(岐阜県郡上市大和町)



●歩道の整備を実施

整備前



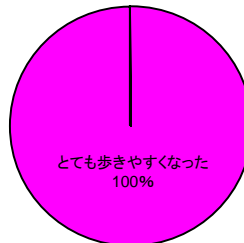
整備後



■整備後の満足度は100%(小学生へのアンケート)

○完成歩道はどうか？

アンケート回答は5, 6年生30名



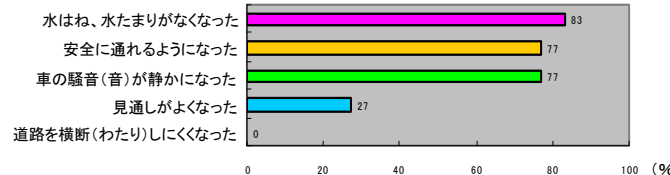
- とても歩きやすくなった
- まあまあ歩きやすくなった
- 変わっていない
- 歩きにくくなった
- とても歩きにくくなった

(小学生の声)

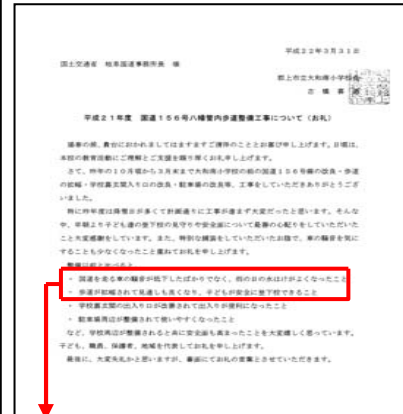
・歩道が広がったので、歩きやすくなりました。

・雨の日いつも水が服にかかっていたけど、かからなくなりました。

○工事前に比べて変わったと思うところ



●小学校からはお礼の声も



- ・国道を走る車の騒音が低下したばかりでなく、雨の日の水はけがよくなったこと
- ・歩道が拡幅されて見通しも良くなり、子どもが安全に登下校できること

■安全で静かになったことを実感している。

(小学校先生の声)

歩道が広くなり、子供たちの安全性が高まりありがたいと思います。道路の舗装は雨の日でも路面が光らず見やすく、また以前に比べてとても静かになりました。